

平成31年度

かくにん  
学習習得確認調査

6年生

理科

じっし  
実施時間：40分

注 意

- 1 先生から「始め」の合図があるまでは、問題用紙を開いてはいけません。
- 2 この問題用紙に学年・組・登録番号を書きましょう。
- 3 解答用紙の右下のらんにマスターシールをはり、学年・組・登録番号を書きましょう。
- 4 答えは、すべて解答用紙に書きましょう。
- 5 答えは、特別の指示のあるもののほかは、ア・イ・ウ・…のうちから最も適切なものを、それぞれ一つずつ選び、その記号を解答用紙の決められたらんに書きましょう。
- 6 先生から「終わり」の合図があったら、書くのをやめましょう。

学年	組	登録番号

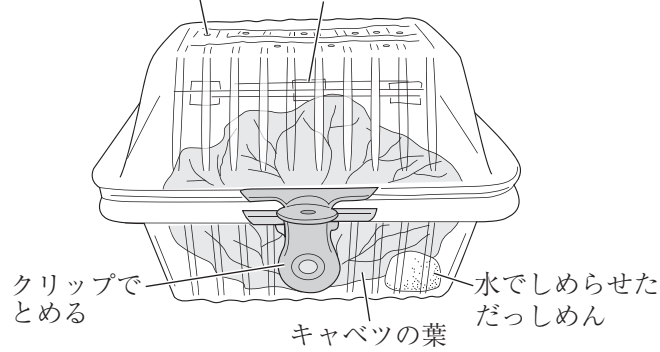
世田谷区教育委員会

1

植物や動物の生活について、次の問いに答えましょう。

(1) トンボのよう虫を育てているようきを表した図として最もき切なものを次から1つ選び、記号で答えましょう。

ア あなを空けておく セロハンテープでとめる

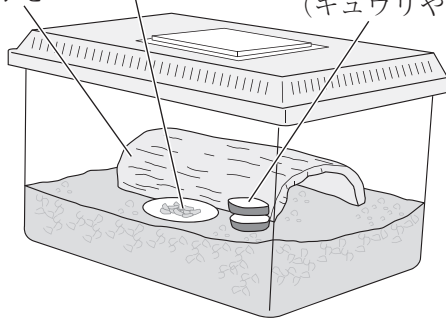


イ



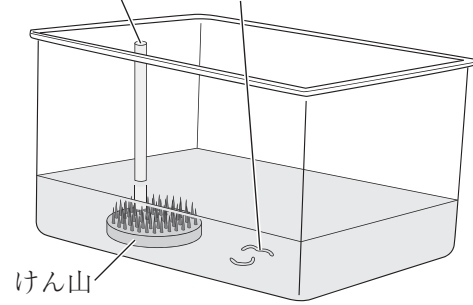
ウ

かつおぶしもあたる えさ(キュウリやナス) かくれがをつくる



エ

えさ(ユスリカのような虫やイトミミズ) ぼう



(2) こん虫には、完全へんたいのものと不完全へんたいのものがいます。不完全へんたいのこん虫としてき切なものを次の[ ]から1つ選び、答えましょう。

[ ゲンジボタル トノサマバッタ カブトムシ アゲハ ]

(3) オオカマキリは、どのようなすがたで冬をこしますか。き切なものを次の[ ]から1つ選び、答えましょう。

[ たまご よう虫 さなぎ 成虫 ]

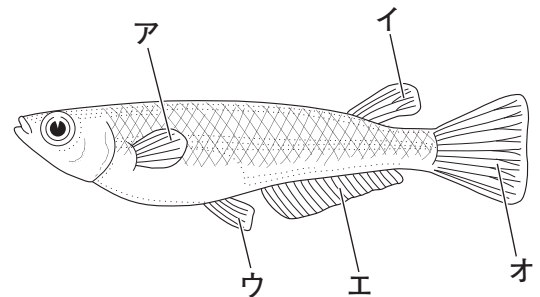
(4) 種子から芽が出ることを何といいますか。その**名前**を答えてください。

(5) ヨウ素液について説明した次の文の□にあてはまることばを答えてください。ただし、□にはどちらも同じことばがあてはまります。

ヨウ素液は、□があるかどうかを調べるときに使うもので、□があるとき青むらさき色になる。

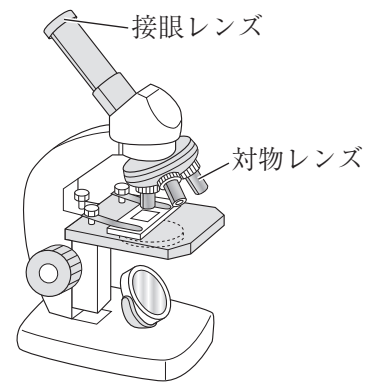
(6) 図1は、メダカのめすのからだのつくりを表したものです。図1のア～オのひれのうち、メダカのおすのひれと明らかに形がちがっているものはどれとどれですか。てき切なものを**2つ**選び、記号で答えてください。

図1



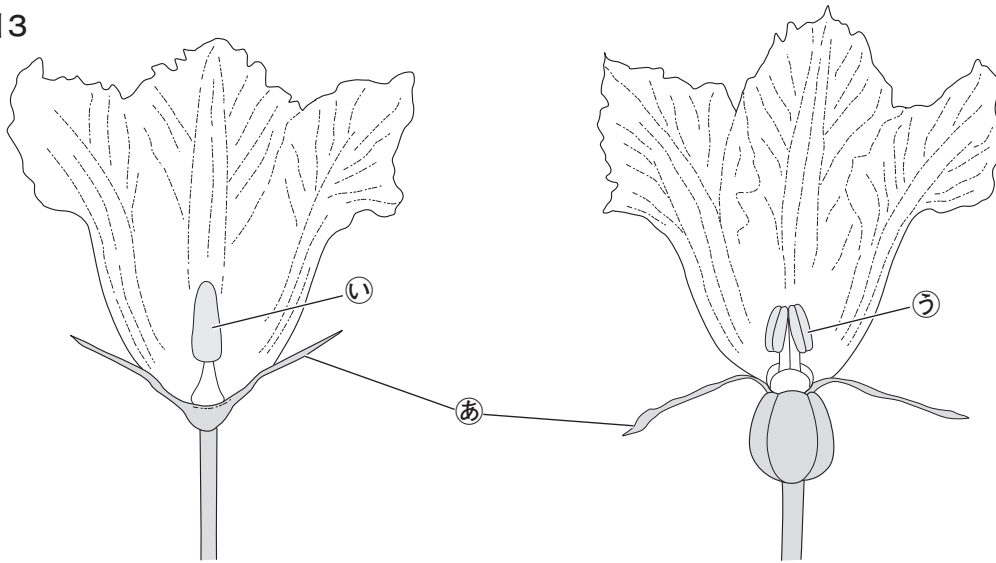
(7) 図2のようなけんび鏡を使って、水の中の小さな生物を観察しました。このとき、10倍の接眼レンズと40倍の対物レンズを使うと、けんび鏡の倍率は何倍になりますか。

図2



- (8) 図3は、カボチャの花のつくりを表したものであり、どちらか一方はめばなを、もう一方はおばなを示しています。これについて、あとの各問いに答えましょう。

図3



- ① 図3の㊸の部分は何といいますか。その名前を答えましょう。
- ② 図3の①の部分と②の部分の様子についての説明として最も適切なものを次から1つ選び、記号で答えましょう。
- ア ①の部分は粉のようなものがたくさんついていて、②の部分はさわるとねばねばしている。
  - イ ①の部分は粉のようなものがたくさんついていて、②の部分はさわるとつるつるしている。
  - ウ ①の部分はさわるとねばねばしていて、②の部分は粉のようなものがたくさんついている。
  - エ ①の部分はさわるとつるつるしていて、②の部分は粉のようなものがたくさんついている。
- (9) 受精について説明した次の文の [ ① ] , [ ② ] にあてはまる最も適切なことばをそれぞれ答えましょう。
- 女性の体内でつくられた [ ① ] と、男性の体内でつくられた [ ② ] がいっしょになることを受精という。

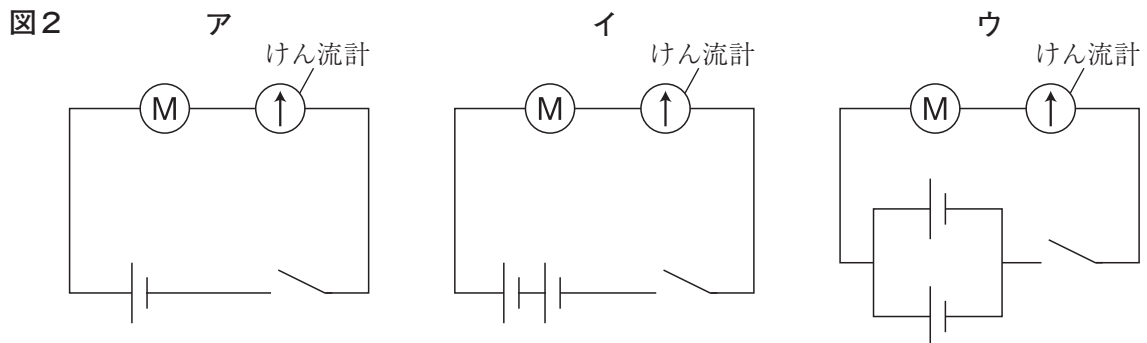
2 身のまわりの現象について、次の問いに答えましょう。

- (1) 図1は、何まいかのかがみを使ってはね返した日光を、黒い紙に集めた様子を表したものです。図1の㊸の部分には、何まいのかがみではね返した日光があたっていますか。



- (2) 電気は通すが、磁石には引きつけられないものを次の〔            〕から1つ選び、答えましょう。  
〔 クリップ    十円玉    わりばし    ガラスのコップ 〕

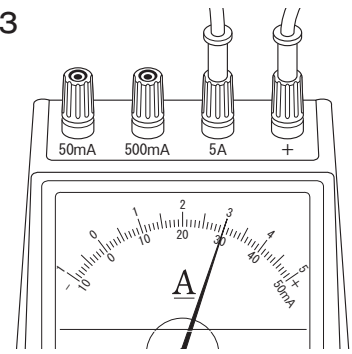
- (3) 図2のア～ウは、3つの回路を回路図で表したものです。これについて、あとの各問いに答えましょう。



- ① 図2のア～ウの回路図で、 $\text{M}$ の回路図記号は何という器具を表していますか。その名前を答えましょう。
- ② 図2のア～ウのうち、けん流計のはりのふれる大きさがほぼ同じである回路はどれとどれですか。てき切なものを2つ選び、記号で答えましょう。

(4) 図3は、回路に正しくつないだ電流計のはりがふれている様子を表したものです。これについて、次の各問いに答えましょう。

図3



① 1Aは何mAですか。最もき切なものを次の〔 〕から1つ選び、答えましょう。  
〔 0.1mA    10mA    100mA    1000mA 〕

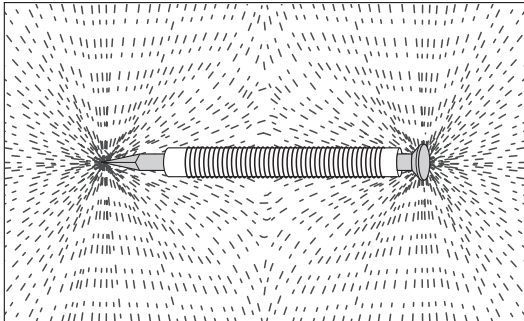
② 図3の電流計のはりは何Aを指していますか。

(5) コイルの中に鉄のしんを入れて電流を流し、そのまわりに鉄粉をまきました。これについて、次の各問いに答えましょう。

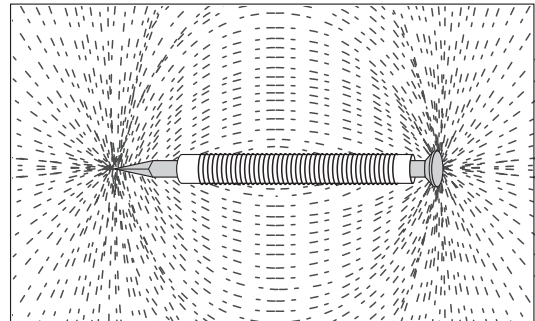
① コイルの中に鉄のしんを入れて電流を流したときにできる磁石を何といいますか。その名前を答えましょう。

② このときまいた鉄粉の様子を表した図として最もき切なものを次から1つ選び、記号で答えましょう。

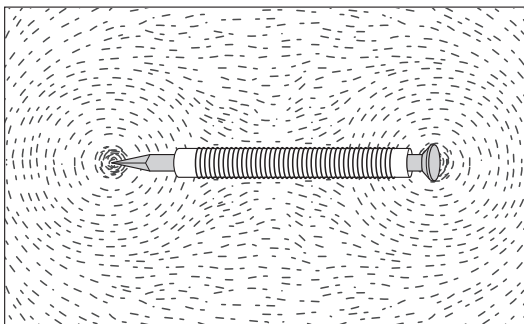
ア



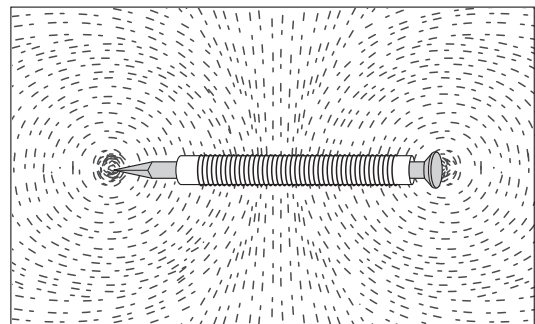
イ



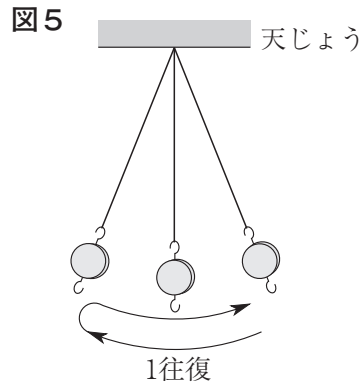
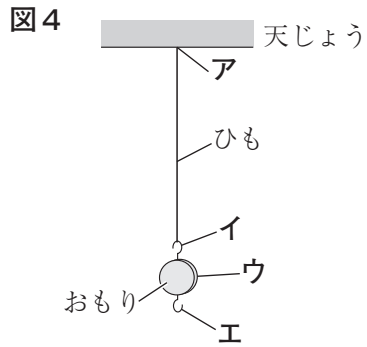
ウ



エ



- (6) 図4のように、おもりにひもをつけて天じょうからつるし、ふりこをつくりました。次に、図5のように、おもりを左右にゆらして、ふりこが1往復する時間を調べました。これについて、あとの各問いに答えましょう。



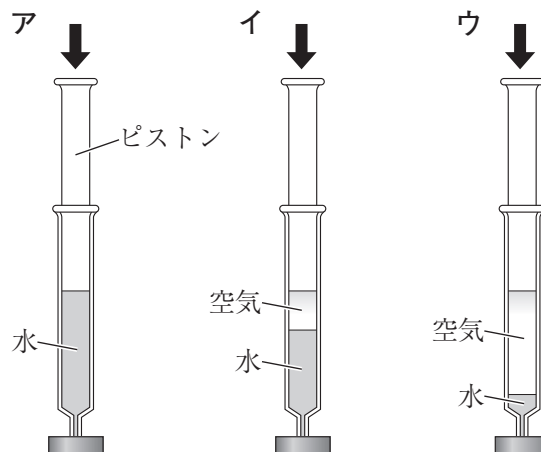
- ① ふりこの支点として最もき切なものを図4のア～エから1つ選び、記号で答えましょう。
- ② ふりこが1往復する時間を長くする方法として最もき切なものを次から1つ選び、記号で答えましょう。
- ア ふりこのふれはばを大きくする。
- イ おもりの重さを重くする。
- ウ ひもの長さを長くする。

3

ものの性質について、次の問いに答えましょう。

- (1) 図1のように、同じ注し器ア～ウを用意し、注し器アには水だけを、注し器イとウには水と空気を入れました。このとき、注し器イには空気よりも水を多く入れ、注し器ウには水よりも空気を多く入れました。注し器ア～ウのピストンを矢印の向きにおすと、ピストンを最も下までおし下げることができる

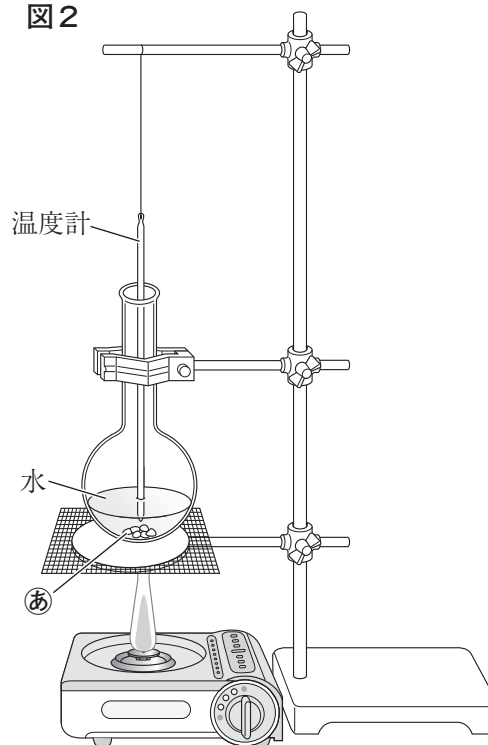
図1



のはどれですか。最もき切なものを図1のア～ウから1つ選び、記号で答えましょう。

- (2) 丸底フラスコに水と㊸を入れ、図2のように、実験用ガスコンロで熱しました。これについて、次の各問いに答えましょう。

図2



- ① 図2の㊸は水が急にわき立ってあふれ出さないように入れるものです。㊸の**名前**を答えましょう。

- ② 熱し始めると、水の温度はしだいに上がりましたが、しばらくすると熱し続けても温度は上がらず、一定になりました。このときの温度は何℃ですか。最もき切なものを次の〔      〕から1つ選び、答えましょう。

〔 50℃      80℃      100℃      120℃ 〕

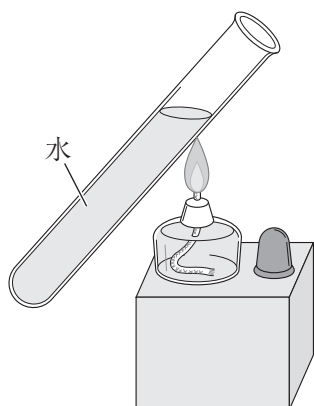
- ③ 水を熱していくと水じょう気とゆげが出ました。水じょう気とゆげについての説明として最もき切なものを次から1つ選び、記号で答えましょう。

- ア 水じょう気は気体で、ゆげは液体である。
- イ 水じょう気は液体で、ゆげは気体である。
- ウ 水じょう気もゆげも気体である。
- エ 水じょう気もゆげも液体である。

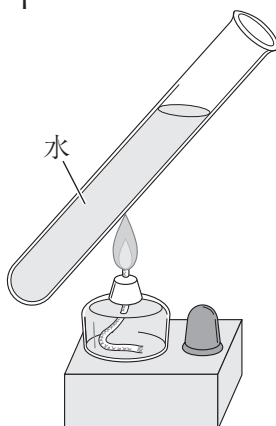


- (3) 同じ3本の試験管に同じ量の水をそれぞれ入れ、次のア～ウのようにして熱しました。このとき、水全体が最も早くあたたまったものはどれですか。最もてき切なものを次から1つ選び、記号で答えましょう。

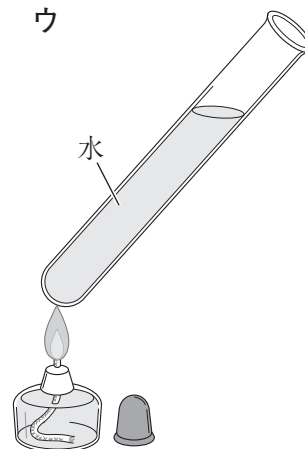
ア



イ

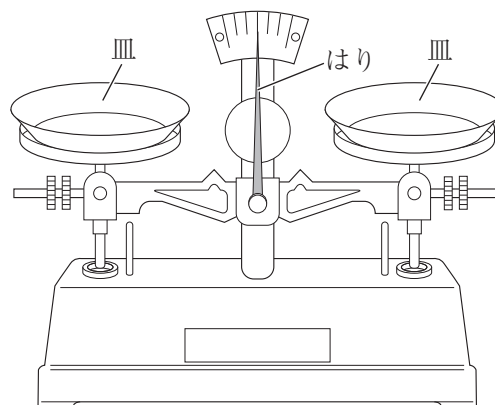


ウ



- (4) 図3のような器具を使って、ねん土の重さを調べました。これについて、次の各問いに答えましょう。

図3



- ① 図3の器具を何といいますか、その名前を答えましょう。

- ② 図3の器具の使い方として正しいものはどれですか。最もてき切なものを1つ選び、記号で答えましょう。

ア 重さを調べるときは、左の皿だけに薬包紙をのせる。

イ 重さを調べるときは、両方の皿に薬包紙をのせる。

ウ 重さを調べるときは、右の皿だけに薬包紙をのせる。

- (5) 180gの水に30gの食塩をすべてとかして、食塩水をつくりました。このときできた食塩水の重さは何gですか。

(6) 同じ温度の水にミョウバンをとかすとき、水の量を多くすると、水にとけるミョウバンの量はどうなりますか。最もき切なものを次から1つ選び、記号で答えましょう。

ア 多くなる。

イ 少なくなる。

ウ ほとんど変わらない。

(7) 温度の高い水100gに食塩をとけるだけとかして水溶液をつくりました。この食塩水を氷水につけて食塩のつぶが出てくるかどうかを調べると、どのような結果が得られますか。最もき切なものを次から1つ選び、記号で答えましょう。

ア 食塩は水の温度が高くなるほどとける量が多くなるため、温度の高い食塩水を氷水に付けると、食塩のつぶがたくさん出てくる。

イ 食塩は水の温度が高くなるほどとける量が多くなるため、温度の高い食塩水を氷水に付けても食塩のつぶはほとんど出てこない。

ウ 食塩は水の温度が高くなってもとける量がほとんど変わらないため、温度の高い食塩水を氷水に付けると、食塩のつぶがたくさん出てくる。

エ 食塩は水の温度が高くなってもとける量がほとんど変わらないため、温度の高い食塩水を氷水に付けても食塩のつぶはほとんど出てこない。

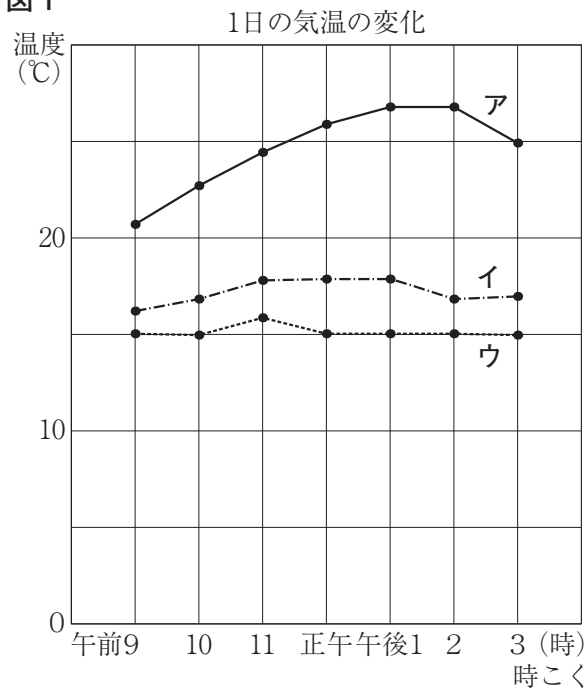
4

気温や天気，月と星，および，流れる水のはたらきについて，次の問いに答えましょう。

(1) 晴れの日，くもりの日，雨の日に，1日の気温の変化を調べ，その結果を図1のようなグラフに表しました。これについて，次の各問いに答えましょう。

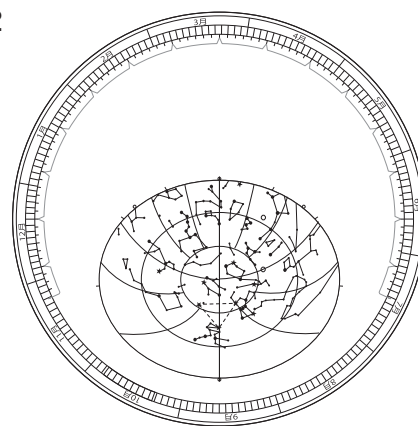
- ① 図1のように，点を直線で結んだ形のグラフを何といいますか。その名前を答えましょう。
- ② 図1のア～ウのうち，晴れの日の変化を表しているグラフはどれですか。最もき切なものを1つ選び，記号で答えましょう。

図1



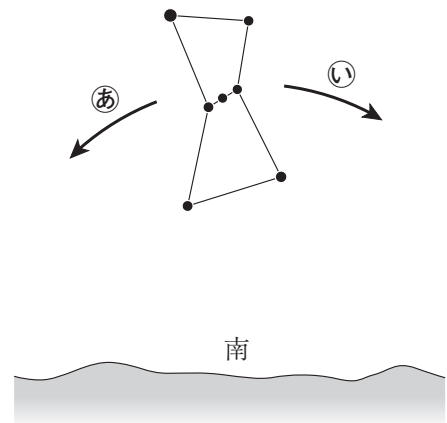
(2) 図2は，ある日のある時こくに，どんな星や星ざが見られるのかを調べるときに使うものです。これを何といいますか。その名前を答えましょう。

図2



(3) 図3は、冬のある日、南の夜空に見えたオリオンぎを表したものです。このあと時間がたつにつれて、オリオンぎはどの方向に動いていったと考えられますか。最もてき切なものを次から1つ選び、記号で答えましょう。

図3



ア 図3の矢印あで示したように、東のほうへ動いていった。

イ 図3の矢印あで示したように、西のほうへ動いていった。

ウ 図3の矢印いで示したように、東のほうへ動いていった。

エ 図3の矢印いで示したように、西のほうへ動いていった。

(4) 全国各地には、自動気象観測所があり、雨の量を自動的に観測して、その情報を気象庁に送っています。このような地いき気象観測システムのことを何といいますか。その名前を答えましょう。

(5) 2日間続けて、同じ時こくに天気を調べました。2日間とも雨はふらず、目で見えた空全体の広さを10としたとき、1日目の雲の量は4で、2日目の雲の量は7でした。この2日間の天気として最もてき切なものを次から1つ選び、記号で答えましょう。

ア 1日目も2日目もくもりである。

イ 1日目も2日目も晴れである。

ウ 1日目はくもりで、2日目は晴れである。

エ 1日目は晴れで、2日目はくもりである。

(6) 日本付近の秋の天気の移り変わりには、どのようなきまりがありますか。最もてき切なものを次から1つ選び、記号で答えましょう。

ア 日本付近の秋の天気は、おおよそ北から南へ移り変わる。

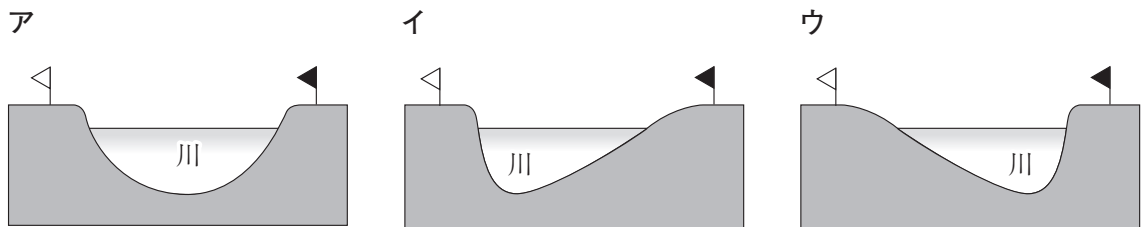
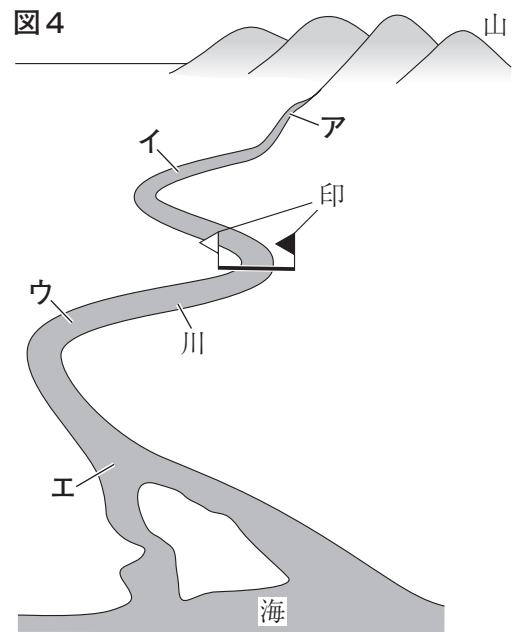
イ 日本付近の秋の天気は、おおよそ南から北へ移り変わる。

ウ 日本付近の秋の天気は、おおよそ西から東へ移り変わる。

エ 日本付近の秋の天気は、おおよそ東から西へ移り変わる。

(7) 図4は、山の中から海に向かって流れる川の様子を表したものです。これについて、次の各問いに答えましょう。

- ① 図4のア～エのうち、流れる水の速さが最も速いところはどこですか。1つ選び、記号で答えましょう。
- ② 図4の印の間で川を切ったとき、その断面の様子はどのようになっていますか。最もき切なものを次から1つ選び、記号で答えましょう。



- ③ 表は川のいろいろな場所で見られた川原の石についてまとめたものです。㊦～㊨にあてはまることばを組み合わせるものとして最もき切なものを下から1つ選び、記号で答えましょう。

表

石の様子			
見られた場所	㊦	㊧	㊨
石の大きさ	5～30cmの石が多い	1m以上の石もある	1cm以下の石ばかり
石の形	丸い石	ごつごつした石	砂粒や丸い小石

- ア ㊦…川の下流      ㊧…川の上流      ㊨…川の中流
- イ ㊦…川の中流      ㊧…川の上流      ㊨…川の下流
- ウ ㊦…川の上流      ㊧…川の中流      ㊨…川の下流
- エ ㊦…川の中流      ㊧…川の下流      ㊨…川の上流





